

会議録

会議の名称	第3回子ども子育て審議会計画専門部会
開催日時	令和5年8月1日（火曜日）午前9時30分から午前11時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：小野委員、島崎委員、菅野委員、関根委員、武田委員、三橋委員 事務局：遠藤子育て支援部長、岡田子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、笹本幼児教育・保育課主幹、中村幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、栗林子育て支援課長補佐、本谷子育て支援課調整係主査、須藤子育て支援課調整係主事
議題	1 審議 (1) 事前ヒアリングの報告について (2) 子育て支援ニーズ調査について (3) 子どもの生活実態調査について (4) 出産・子育て意識調査について 2 その他
会議資料の名称	資料1 事前ヒアリングの報告について 資料2-1 子育て支援ニーズ調査票（案）未就園児の保護者 資料2-2 子育て支援ニーズ調査票（案）小学生の保護者 資料3 子育て支援ニーズ調査の設問について 資料4-1 子どもの生活実態調査 小学生票（案） 資料4-2 子どもの生活実態調査 中学生票（案） 資料4-3 子どもの生活実態調査 保護者票（案） 資料5 出産・子育てに関する意識調査票（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 審議</p> <p>(1) 事前ヒアリングの報告について</p> <p>○小野部会長： 事前ヒアリングについて事務局から説明願う。</p> <p>○事務局： 第2回計画専門部会終了後、子育てひろば利用者や西東京市立小中学校PTA・保護者の会の方、母子・父子自立支援担当職員にヒアリングを行い、各種調査票に反映した。 資料1に沿って説明</p> <p>○小野部会長： 事前ヒアリングについて意見や質問はあるか。 特になければ、次の議題以降で説明いただく調査票にヒアリング内容が反映されているので、調査票を確認していく中で委員の皆様から意見を伺いたい。</p>	

(2) 子育て支援ニーズ調査について

○小野部会長：

子育て支援ニーズ調査について事務局から説明願う。

○事務局：

資料2-1、資料3に沿って説明

黒マーカーに白字の箇所が、前回からの変更点である。

第2回計画専門部会で検討した問49は、経年変化を追うために継続したい。そのため、部会でご意見が挙がった、怒鳴ったり、無視したりすることは、別途設問を追加することとした。

○小野部会長：

資料2-1問49の考え方と今回の設問について、皆様のご意見を伺いたい。

○菅野委員：

この表記で問題ない。

○小野部会長：

国は、こども誰でも通園制度という、親が就労していなくても保育所を利用できる新制度を打ち出した。この制度の認知度や利用の意向を尋ねる設問を追加することもできると思うが、現状の設問で特に問題ないか。

○委員

異議なし

○島崎委員：

資料2-1問49に関連して、「お子さんの前で夫婦喧嘩をしたことがあるか」の追加を検討いただきたい。

○事務局：

子どもの虐待に関しては、広く様々な事象があるが、設問数が既に多いため追加については検討したい。

○三橋委員：

資料2-1問49④について、良くないと分かっているが、気持ちの余裕がなくて思わず子どもをたたいたり、怒鳴ってしまう保護者もいると思う。

選択肢7に似ているが、回答の時に自分を責めることになるので、「忙しく余裕がないため」という選択肢も追加いただけると、保護者に共感性があり、罪悪感を減らせるのではないか。

○小野部会長：

いらいらする原因もあると思うが、選択肢を検討いただきたい。

○事務局：

追加を検討する。

○島崎委員：

資料2-2問33の「育成会」に関して、私が知っている地域では、大人が企画した行事を地域に告知し、子どもが参加できる単発的な取組があるので、質問文に「イベント」を追記すると「参加したことがある」が回答しやすくなるのではないか。

○小野部会長：

育成会は、地域によって活動内容も異なると思う。

○菅野委員：

正式名称は、青少年育成会である。

子どもは地域活動という文言で把握できるか。団体でいつも行っている活動という印象を受けるが、ラジオ体操や芋掘り等のイベントや清掃などのボランティア活動を行っており、多くの子どもが参加している。

○事務局：

代表的なイベント名を追加するなど検討する。

○小野部会長：

資料2-2問35は、保護者が子どもの活動に参加しているかを尋ねる認識で良いか。設問の意図を確認したい。

○事務局：

子どもの意志で参加している活動への保護者の関わり方を尋ねる意図である。

○小野部会長：

何をもって「参加」と捉えるかで回答が変わってくるだろう。送迎も参加に該当するのか。

○事務局：

前回の調査を引き継いでいるため、設問の意図や現行の具体的な施策に反映されているかを確認する。

○関根委員：

資料2-1問44選択肢9は、事前ヒアリングの意見を基に「ファミリー・サポートを利用」と変更されたが、正式事業名は「ファミリー・サポート・センター」のため、これで良いかは悩ましいところである。

○事務局：

正式名称と回答者への伝わりやすさを検討できればと思う。

○小野部会長：

資料2-1問56の質問文に、「子ども」だった頃の補足を追加いただきたい。

○事務局：

修正する。

○関根委員：

資料2-1問55、56まじのことの「市の重要なこと」と「子どもに関わる市の重要なこ」が回答を選びにくいので、イメージしやすい例があると良いと思う。

○事務局：

資料下部に例示を行うなど検討する。

○小野部会長：

子ども子育て審議会への報告にあたっては、意見が反映された調査票の確認を部会長に一任いただきたい。

○委員：

異議なし

(3) 子どもの生活実態調査について

○小野部会長：

子どもの生活実態調査について事務局から説明願う。

○事務局：

資料4-1に沿って説明

黒マーカーに白字の箇所が、前回からの変更点である。

問17母子父子自立支援担当職員の事前ヒアリングの意見を反映し、朝ごはんの内容に関する項目を新規で追加した。

資料4-3に沿って説明

問19選択肢6に関して、表現変更が必要か部会員の意見を伺いたい。

問26に体験に関する項目を追加した。東京都や都内自治体の子どもの生活実態調査を参考とした。質問文は、他市区町村では「お子さんと次のような体験をしましたか」であったが、子どものみで参加するイベント等もあることから、資料のとおりとした。

問33、問35について、支援制度や市が提供するサービスを利用したことがある方に意見を挙げていただけるよう、自由記述欄を追加した。

○事務局：

第1回計画専門部会にてご質問いただいた、学校に通っていないお子さんへの調査については、適応指導教室や不登校ひきこもり相談室を通して調査票を渡し、回答を依頼する予定である。

- 小野部会長：
何か意見や質問はあるか。
- 菅野委員：
資料4-1問16に関連して、どこで食事をしているかは聞かなくても良いか。
- 事務局：
どこで誰と食事をしているかを尋ねる調査例もあるが、設問数に限りがあるため、今回は食事を取れているかのみを聞くこととした。
- 武田委員：
孤食の問題もあるため、どこで誰と食事をしているかも追加いただきたい。
問17の回答は、あてはまるもの全てに○とあるが、選択肢の全てに○をする回答者が多くなることが懸念されるので、よく食べるもの3つ程度に絞った方が良いのではないか。
- 菅野委員：
食べているものが、買ったものか、または家で調理されたものかによっても生活の違いが見えると思う。
- 小野部会長：
肉料理や魚料理など必ずしも朝ごはんでは食べなくても良いものもあると思う。
それでは、問17は残して選択肢を整理し、どこで誰と食事をしているかを追加する方向で検討いただきたい。
- 事務局：
そのように検討する。
- 小野部会長：
資料4-1問3選択肢1に通信教材が追加されたが、通信教育はお金がかかるので、選択肢2に入れた方が良いのではないか。
- 事務局：
どこで勉強しているかを聞くために選択肢1に追加したが、通信教育を追加した意図を踏まえて再度検討する。
- 小野部会長：
資料4-1問21にタブレットが追加されたが、ゲームの使用時間を聞きたいのであれば、パソコンやゲーム機も追加した方が良いのではないか。
- 事務局：
パソコンを活用して勉強しているケースもあると思うので、デバイスをどこまで想定

するかを検討する。

○関根委員：

資料4-1問28選択肢i、問29選択肢9に「消費者センター分館」を追加できると良い。

○事務局：

追加する。

○小野部会長：

資料4-3問19選択肢6の表現についてはいかがか。

○島崎委員：

子どもについては自殺の表現はない方が良いが、保護者については考えたことがある人もいると思うので残して良いと思う。

また、問35、36を回答しながら気持ちが整理され、思いに気付く場合もあると思うので、子ども向けの調査票同様に、保護者の相談先として子育て家庭支援センターやほっとルームが案内できると良いのではないか。

○小野部会長：

資料4-3問19選択肢6は修正無しとする。

○武田委員：

資料4-3問26選択肢aは、海水浴だけでなく山登りもあるので、「アウトドア」に変更できないか。山登りは、選択肢cにあてはまらないと思う。

○菅野委員：

田舎の親戚の家に行くというのも体験になると思う。

○小野部会長：

選択肢を再度検討いただきたい。

○事務局：

他自治体の調査例を参考としている。同じ選択肢を使用することで比較することができるので、選択肢を追加する方向で検討する。

○関根委員：

同設問は、家族と一緒にする体験に限らず、子ども向けのプログラムに参加するというものでも良いということか。

○事務局：

子どもだけで行くものも体験に含んでいる。

○小野部会長：
子ども子育て審議会への報告にあたっては、意見が反映された調査票の確認を部会長に一任いただきたい。

○委員：
異議なし

(4) 出産・子育て意識調査について

○小野部会長：
出産・子育て意識調査について事務局から説明願う。

○事務局：
資料5に沿って説明
黒マーカーに白字の箇所が、前回からの変更点である。
問13に不妊治療に関して任意回答として選択肢を追加した。
問15に「プレパパ・プレママのつどい」「赤ちゃんのつどい」「地域子育て支援センター」「児童館」を追加し、各サービス説明欄に無料または利用料金を記載した。

○小野部会長：
網羅的に追加いただいた。ご意見やご質問はあるか。

○武田委員：
問11（1）選択肢のみ漢数字である。

○事務局：
修正する。

○小野部会長：
設問に関しては、修正無しということで子ども子育て審議会に報告する。

2 その他

○事務局：
調査票に関するご意見やご質問等を8月8日（火）までにお寄せいただきたい。また、意見が反映された調査票を部会長にご確認いただき、子ども子育て審議会への報告資料とする。

○小野部会長：
それでは、第3回子ども子育て審議会計画専門部会を閉会する。

閉会